

対談

製薬企業社員×薬学生

薬の情報提供を通じ医療に貢献

最近では、薬学部を卒業した後の進路について、臨床以外の場あまり目を向けない学生が増加している傾向にあります。しかし、実際に製薬企業の仕事に焦点を合わせてみると、薬学部を卒業してから第一線で活躍している方が多くいらっしゃいます。今回は、製薬企業の学術職であるメディカルアフェアーズに注目し、外資系製薬企業のMSDで、女性アソシエイトディレクターとしてご活躍されている高澤菊子さんにインタビューを行いました（日本薬学生連盟2017年度広報統括理事＝東邦大学4年・吉田栄子 慶應義塾大学3年・吉本愛梨 武蔵野大学3年・安次嶺栄智）



MSD オンコロジーメディカルアフェアーズ
メディカル・インフォメーション

高澤 菊子さん

臨床以外にも活躍できる場はある

—高澤さんのお仕事について教えてください。

私が所属しているのは、製薬企業のオンコロジーメディカルアフェアーズという部署の中のメディカルインフォメーションという部署になります。オンコロジー領域のMSD製品および製品に関連する疾患治療の学術情報を収集し、その情報を科学的かつ公正に評価を行って、集積しています。

さらに、これらの情報からアンメットメディカルニーズやリスク等を抽出します。私たちはこれを「インサイト」と呼んでいます。これら情報のインサイトから解決策を検討し、医薬品の適正使用の推進、社内外に対して質の高い情報提供ができるように活用してい

ます。

医療現場の薬剤師が使う医療用医薬品のインタビューフォーム（IF）や医薬品リスク管理計画（RMP）に基づいて作成される適正使用ガイドといったノンプロモーションな資材も、私たちのグループで作成しています。マーケティング部門などが作成するプロモーション資材については、記載内容が適正かどうか専門的なコンサルテーションもしますし、記載内容の検証も行います。

製品に関する問い合わせなども多いのですが、それに対して通常は顧客対応を行うカスタマーサポートセンターが引き受けていますが、それだけでは対応が難しい内容については、私たち

のグループで対応します。このように、高度な学術知識が必要とされる仕事となります。

—薬局や病院で働く臨床現場の薬剤師ではなく、なぜ製薬企業に就職しようと思ったのですか。

製薬企業では医薬品の営業（MR）から開発、学術、マーケティングなど、各部署で様々な職種の人たちが活躍していますので、いろいろなことにチャレンジができる、また様々な経験ができるのではないかと考えたからです。学生のときは、製薬企業に関してしっかりと知識はなかったのですが、そういう思いを持って製薬企業に就職しました。

—臨床現場の薬剤師の仕事と比較

して、製薬企業でしか経験できないことはありますか。

おそらく薬剤師の仕事は、いま目の前にいる患者さんへの対応が中心になると思いますが、製薬企業では広く製品を必要とされている人たちに提供していくという点で、その役割が少し違うのではないかと思います。最終的には、臨床現場でも、製薬企業でも患者さんに対して医薬品を提供していくという点においては共通しています。

薬学の知識アドバンテージに

様々な職種経験できる

首都圏を中心に店舗展開中!



会社説明会開催中!

ミキ薬局



東京都：20店舗 神奈川県：4店舗
埼玉・千葉・山梨・栃木県：各1店舗



株式会社メディカルファーマシー

本社：〒162-0056 東京都新宿区若松町8-1
ホームページ <http://miki-ph.jp>